

令和 2 年度 校長通信

立志だより



～笑顔の登校 満足の下校～
与那原町立与那原中学校
発行者 校長 東江功子

研究授業第13・14号

昨日の 10 月 1 日 (木) は、特別支援学級の研究授業が 2 つありました。



2 校時は、上里吉輝先生による数学の授業でした。9 組さんで行われた授業は、2 人の生徒 (1 年、3 年) の数学で、生徒の課題別の授業で

した。授業のはじめに自立活動としてタブレットを活用した高次脳バランサーや探し算の計算をおこなっていましたが、生徒達はそれぞれの課題や計算を自分の目標の時間内に出来るように集中して頑張っていました。



めあて：自分で決めた課題を全力で取り組もう

各自の問題集で復習した後に、数学のニュートン Jr で、一次式の計算や二次関数に挑戦

していました。上里先生は、それぞれの課題の取り組みで、つまづいてる場面に助言して、指導していましたが、教科書を参考に考え方や計算の仕方を説明して生徒自身に気付き、発見を促すよう指導していたのが印象的でした。複式学級での授業は、生徒との関わる時間の配分や自力解決できる課題の設定など色々な準備をしないと いけませんが、今回の授業は生徒がしっかりと課題に全力で取り組んでいたのも、とても良かったと思います。



5 校時には、金城萌里先生が 1 年 8 組で社会の授業を行いました。

今回の授業は 1 人だけの授業でした。

めあて：北アメリカ州の地形と気候にはどのような特色があるだろう

授業のはじめの自立活動では、世界の国旗のカードを使って神経衰弱を行い、感覚認知を高める取り組みでした。時間を設定しながらカードを多くしていき、楽しみながら集中力を高めているのがわかりました。



授業では、ICT 機器を活用し、既習事項を確認し、本時の北アメリカの地形、気候について、ゆっくりと丁寧に説明と確認を繰り返していきました。山脈

や、平野の名称、気候の特色など、結構難しい内容でした。授業の途中で思考が停止してしまいそうになる場面もありましたが、萌里先生も粘り強く色々な発問、ヒントを与えながら最後まで頑張ることが出来ました。

今回の 2 つの授業では、生徒の特性や授業の導入としての自立活動の工夫、授業では、きめ細かな対応などがあり、生徒達も最後まで頑張っている姿が印象的でした。



朝の登校の様子

日常を取り戻しつつある毎日、朝の挨拶運動も活発になってきました。【↓生徒会の皆さん】



【↑手首かざして検温 女子バレー部の挨拶運動↑】

教育実習終了しました

9 月 7 日～

9 月 30 日まで

での 6 名の教育実習が終了しました。本校の卒業生である皆さん一人ひとりが各教科や学級で、授業はもちろん、生徒との触れ合いを通して「教師への道」をさらに強く希望することが出来たそうです。大変嬉しい事ですね。担当して下さいました先生方大変お疲れ様でした。そしてありがとうございました。(*・1・*)